様式２

番号 ＼ 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	35・清水	第３学年 公民的分野	公民・931	中学　公民 日本の社会と世界
取扱内容 （学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）	○　私たちと現代社会に関する内容 少子高齢社会の未来やグローバル化の時代を通して、地理的分野及び歴史的分野との関連を図りながら写真や統計資料を比較したり、平日の体育館の利用方法の事例を通して、問題を追究し、説明したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　私たちと経済に関する内容 為替・クレジットカードのしくみに関する事例を通して、判断した過程や結果をまとめたり、契約やクーリングオフ制度、循環型社会を通して、消費生活を営む上での責任を自分の生活と関わらせて考え説明したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　私たちと政治に関する内容 冤罪事件や職場での男女平等を通して、基本的人権の意味を考察したり、地域活性化・復興に向けた地域の取組、日本の裁判員制度の意義を通して、地方自治の基本的な考え方や法に基づく公正な裁判の保障について調査したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　私たちと国際社会の諸課題に関する内容 国際連合のはたらきや国際社会と法を通して、国家間の相互の主権の尊重と協力、国際機構の役割等について考察したり、よりよい社会の形成者をテーマとして、視点を明確にして考察し、レポートを作成したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　知識・技能の習得、活用、探究への対応 巻末の「卒業論文を書いてみよう」において、学習内容を言語活動を通して表現するなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。			
内容の構成・排列、分量等	○　内容の構成・排列 「私たちと現代社会」において、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の形成についての課題学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○　内容の分量 「私たちと現代社会」は18ページ、「私たちと経済」は62ページ、「私たちと政治」は74ページ、「私たちと国際社会の諸課題」は28ページであり、総ページ数は223ページで、前回より約3%増となっている。			
使用上の配慮等	○　「もっと知りたい公民」や「補足説明」を設け、よりよい社会の形成に参画する意欲や態度を高めたり、学習に関連するテーマを解説する「深める公民」を掲載したりするなどして、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　広い視野から学習を深めることができるよう、「もっと知りたい公民」や「補足説明」を設けたり、よりよい社会の形成に参画する意欲や態度が高まるよう、学習に関連するテーマを解説する「深める　公民」を掲載したりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　家庭での自学自習に配慮し、巻頭に教科書で使われているマークの説明を設けるとともに、巻末に年表「現代社会のうごき」を掲載し、分野間の学習の関連を図ったり、全ての生徒が学習しやすいよう、読み取りやすい活字にしたりするなど、使用上の便宜が図られている。			
その他	○　北海道に関連する教材は、アイヌの人たちの歴史・文化等について５箇所、北方領土について２ページが取り上げられている。 ○　公民的分野の学習が、小・中学校社会科のまとめになることから、「卒業論文を書いてみよう」の課題ページを設けるなど、工夫がなされている。 ○　活字は、ユニバーサルデザイン・フォントを使用し、多くの生徒にとって読みやすい教科書となるよう配慮されている。			